

# HDM推進会（第4回）／ごみゼロネット推進会（第26回）議事録

開催日： 2010年（H22年）8月 16日（月）10:00～12:00

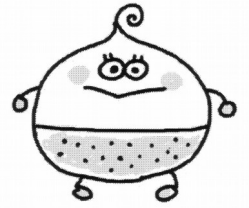
場所： ウエスト

出席者： 野見山議員、大橋、市原、杉本、平林、加藤、加賀谷、桐生（作成）

議題：

この議事録は、8月 26日のごみ処理施設建設等調査特別委員会の質問事項 をまとめるために集まった会合に関する。以下の文は、会合の結論を即日大橋氏がまとめ、メンバーに送られたものから、ごみ特で質問された項目に関連あるものを収録した。

この会合の位置づけが標記のようであるために、遅くなったが、記録の一貫性を維持するために発行する。



## ●HDM 推進会との協議進捗状況

第3回協議（7月14日、7月19日に議員に報告）の結論を再確認させる

HDM 実証試験施設建設は建築基準法上問題ないこと

HDM 実証試験の場所について 蛇の目跡地が候補

建築確認申請について都多摩建築指導事務所に事前相談したかどうか

「HDM はごみ処理施設である」ことを申請者が明確に言及して、申請すべきではないか

- これからの工程について（確認申請、住民説明会、実証施設建設時期など）… いつ建築確認申請する予定か
- 議会で全会一致で採択された案件である。対応が遅れているのは何故か
- 燃やすごみ減量化の一環として家庭用生ごみ処理機の購入を補助しているが年々利用者が少なくなっている（下記表）。平成21年度には予算4500万円に対し、利用件数414（金額1491.8万円）、これまでの余剰金が6000万円余りに達している。  
このように家庭での生ごみ処理による燃やすごみの減量は、頭打ちになっている。  
そこで燃やすごみ減量化を進めるための新たな有力な方法としHDMシステムが浮上し、その実証試験をする陳情が全議員の賛成で採択された。

家庭用生ごみ処理機購入補助制度 利用者数の推移

年度（平成）	予算	申請数	金額	余剰金
18	465万円	319	3,795,000円	1,155,000円
19	5040万円	2029	78,699,100円	補正予算で補填
20	4525万円	525	14,955,000円	30,295,000円
21	4500万円	414	14,918,000円	30,081,900円
合計	1億 4530万円	3287	112,367,100円	61,531,900円

HDM 実証試験の全支出（見積もり額）は約3000万円であり、上記の余剰金で十分賄える。

燃やすごみの減量化をさらに進めるには、HDMシステムは有力な方法と考えるが、市長、担当部署部長）はどうのように考えているか。

以上